

各位

上場会社名 株式会社 スーパー大栄  
 代表者 代表取締役社長 中山 勝彦  
 (コード番号 9819)  
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 阪本 博美  
 (TEL 093-602-2770)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月18日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	50	30	30	4.16
今回修正予想(B)	12,794	△51	△67	△115	△15.98
増減額(B-A)	△705	△101	△97	△145	
増減率(%)	△5.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	13,651	△66	△86	△63	△9.16

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,300	140	100	100	13.89
今回修正予想(B)	26,000	10	△20	△60	△8.33
増減額(B-A)	△1,300	△130	△120	△160	
増減率(%)	△4.8	△92.9	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	27,270	△46	△84	△147	△21.03

#### 修正の理由

当社は平成23年3月、事業改革の一環として、中核事業部に成長した鮮ど市場事業部を、今まで以上に営業力の強化と当社独自の店舗戦略で売上拡張を図るためコンサルティング契約を解除いたしました。そして、鮮ど市場店舗の屋号も「フレッシュ8」と改称し、6月1日より全店一斉に新装オープンいたしました。

しかしながら、生鮮食料品の「新鮮で安い！」を販売戦略にした「フレッシュ8」も、夏場の最大の需要時期に牛肉の放射能汚染問題が発生し国産牛肉の売れ行きが激減したことや、商圈内の競合スーパー及び食品を扱うドラッグストアが消費者の低価格ニーズに合わせ、極端な価格戦略で顧客誘致を図ってきたため「フレッシュ8」の各店舗は大きな影響を受けました。

また、前年より収益力の改善と経営の効率化を図るため、不採算店舗を数店閉鎖いたしました。店舗のリストラも一定の目的がたち、今後は積極的に新規出店していく方針ですが、過年度の店舗閉鎖と既存店の不振が大きく響き売上高は当初予想を下回る見込みとなり、また、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても、不採算店舗の閉鎖や賃貸収入の増加などで改善した部門もありましたが、既存店の売上不振や、「フレッシュ8」への改称に伴う改装費用の発生、固定資産除却損及び法人税等調整額の計上などにより当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後予定している新規出店の初期投資費用及び業態変更に伴う改装費用等を見込んでおりますので売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について下方修正するものです。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上